

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	25	学校名	高取国際高等学校
----	----	-----	----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	地歴探究
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	普通科2年生の地歴公民科選択科目として実施。「あすか地域の歴史・産業等の特徴を知り、郷土理解を深める」「自ら情報を収集して、活用する力を培う」ことを目標とする。
連携・協働相手	高取町役場、明日香村役場、桜井市教育委員会、橿原市教育委員会、株式会社三光丸、有限会社ポニーの里ファーム、フォレスターアカデミー、奈良大学
地域と共有している目標・課題等	地域の遺跡や産業・特産品等の学習とそれらを活用して地域産業や地域行事への参画を行う。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>明日香村役場と協働して、地域の古墳やその他の遺跡の見学を職員案内のもと行った。桜井市教育委員会、橿原市教育委員会、奈良大学へ講師の派遣を依頼し、探究活動の意義についての講義や古銭造り体験、吉野川分水の調査、高取町内の伊能忠敬地図の調査を行った。高取町役場、フォレスターアカデミー、株式会社三光丸、有限会社ポニーの里ファームと協働した。製薬産業の体験（原料の植物の植え付け、森での間伐、収穫および選別、製薬、薬植物の衣食利用）を通じて一体的に学ぶ取組を行った。</p> <p>生徒は毎回の体験の前後に予習とまとめ学習、レポート作成を行い、1年間のまとめとして最終報告書の作成を行った。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>2学期までは全員が同じ内容の学習を行ったが、3学期は生徒からの要望で学習内容のうち、各人が深めたい内容について体験および学習を行った。また、最終報告書においても深い内容のまとめを書くことができていた生徒が多かった。生徒自らが学びたい内容を要求してきたことはもちろん、それによって関係機関とのつながりがより深まり、学習内容も深めることができたという点では大きな成果であった。</p>

